

令和6年 新年賀詞交歓会 実施報告



佐々木会長



(公社)全国ビルメンテナンス協会
一戸隆男直前会長



都議会自民党ビルメンテナンス業
振興政策研究会 宇田川聡史会長

令和6年1月12日(金)、令和6年新年賀詞交歓会(当協会主催、東京ビルメンテナンス政治連盟協賛)が浅草ビューホテルにて行われた。

昨年5月に新型コロナが感染症法上の5類に移行したことを受けて、コロナ前と同様に人数制限を設けない立食形式での開催となり、参加人数は会員、来賓等の計340名となった。

佐々木会長からは冒頭「元日に石川県能登地方で震度7の地震があり、非常に大きな被害が生じました。被害に遭われた方には心からお見舞い申し上げます。」との発言があり、黙とうを捧げた。続いて「この3年間は新型コロナウイルス感染症に翻弄されましたが、昨年5月に5類に移行したことにより、ようやく日常を取り戻しつつあります。これを受け、今年の新年賀詞交歓会は、4年ぶりにコロナ禍前の姿に戻すことができました。コロナ禍の収束を受け、

昨年は、講習会やセミナーなど協会の根幹をなす公益事業をほぼ本来の姿に戻して実施することができました。これらもひとえに会員の皆様はじめご来場の関係各位のご理解・ご協力の賜物と、この場をお借りして御礼申し上げます。しかし、ウクライナ侵攻やイスラエルの紛争などによるエネルギー価格や諸物価の高騰、慢性的な人手不足など、ビルメンテナンス業界を取り巻く状況には依然として厳しいものがあります。折しも、私は昨年7月に全国協会会長に選任されましたので、全国協会との連携を一層緊密にすることで広い視点から東京協会のさらなる活性化にも資するよう、新年を迎えて決意を新たにしております。」と年頭挨拶があった。

その他、全国協会直前会長の一戸隆男氏や都議会自民党ビルメンテナンス業振興政策研究会会長の宇田川聡史氏などから来賓祝辞があった。